

ひろさきじょうほんまるいしがきしゅうりじぎょう

# 弘前城本丸石垣修理事業のスケジュール

へいせい

ねんど いしがきしゅうりじぎょう

## ☆平成26～28年度の石垣修理事業のスケジュール

へいせい ねんど  
◇平成26年度

- ・本丸平場本発掘調査  
ほんまるひらばほんはっくつちょうさ  
てんしゅひきや かせつき そせつち
- ・天守曳屋仮設基礎設置  
へいせい ねんど  
ほんまるてんしゅだいほんはっくつちょうさ



◇平成27年度

- ・本丸天守台本発掘調査  
ほんまるてんしゅだいほんはっくつちょうさ  
てんしゅひきや かせつあし ばせつち およ てんしゅひきや
- ・天守曳屋仮設足場設置及び天守曳屋  
いしがきしゅうりじっせつけい  
・石垣修理実施設計

へいせい ねんど  
◇平成28年度～

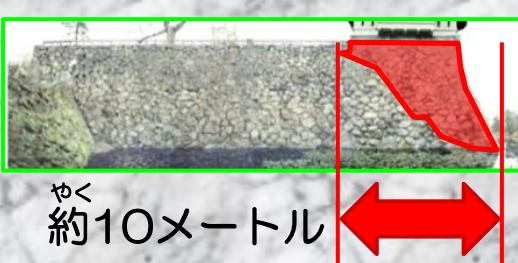
- いしがきかいといこうじ  
・石垣解体工事

みなみ のそ ひろさきじょうほんまるいしがき  
南から望んだ弘前城本丸石垣



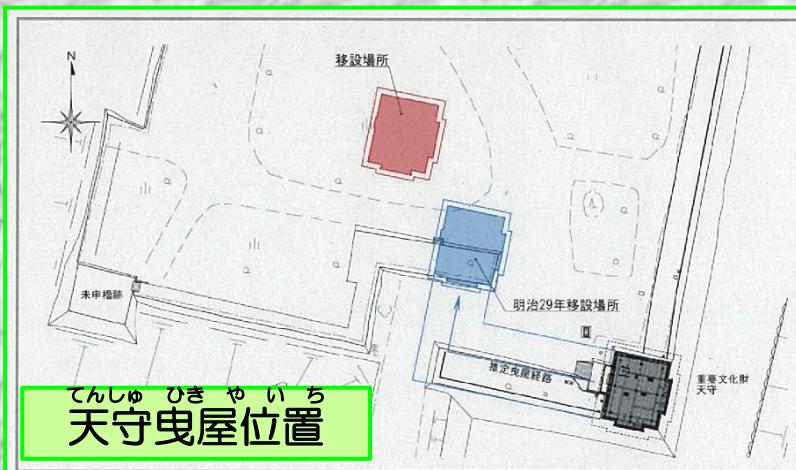
やく  
約100メートル

しゅうり はんい ひがしめん  
修理範囲 (東面)



やく  
約10メートル

しゅうり はんい みなみめん  
修理範囲 (南面)



てんしゅ ひき や い ち  
天守曳屋位置



めいじ たいしょう いしがきしゅうり  
明治・大正期の石垣修理



弘前市マスコットキャラクター  
たかんくん

# ひろさきじょうほんまるいしがきしゅうりじぎょう 弘前城本丸石垣修理事業 ねん だいしゅうり ～100年ぶりの大修理～

弘前城本丸の石垣は、築城時の慶長15年（1610）に築かれ、築きかけ

の東面中央部分は元禄12年（1699）によくやく完成しました。

完成した石垣は、明治29年（1896）に天守台下の部分が崩落し、また、翌年には天守台北側の石垣が崩落しました。その際は、天守を西側に曳屋して、大正5年（1916）までの期間で修復工事を行いました。

その後、昭和58年（1983）の日本海中部地震の頃から石垣の一部で変位が大きくなっているとの指摘があり、さまざまな観測や調査を行いました。

観測及び調査の結果、石垣の一部での

孕みや天守の傾きなどが確認されました。

そのため、天守台下の部分から最も孕み出しが大きい東面中央部までの石垣を

かいたいしゅうり  
解体修理することになりました。

石垣の解体修理は、天守の曳屋を平成27年（2015）に行った後、平成

28年（2016）から本格的に実施する予定です。

前回の大規模修理から約100年の時を経て実施される、今回の天守の曳屋と石垣解体修理はまさに100年ぶりの大修理なのです。

※今後の発掘調査の結果等により、スケジュールは変更になる場合があります。



○弘前城本丸石垣修理事業についてのお問い合わせ先

弘前市都市環境部 公園緑地課 弘前城整備活用推進室

弘前市大字下白銀町1 TEL 0172 (33) 8739 FAX 0172 (33) 8799



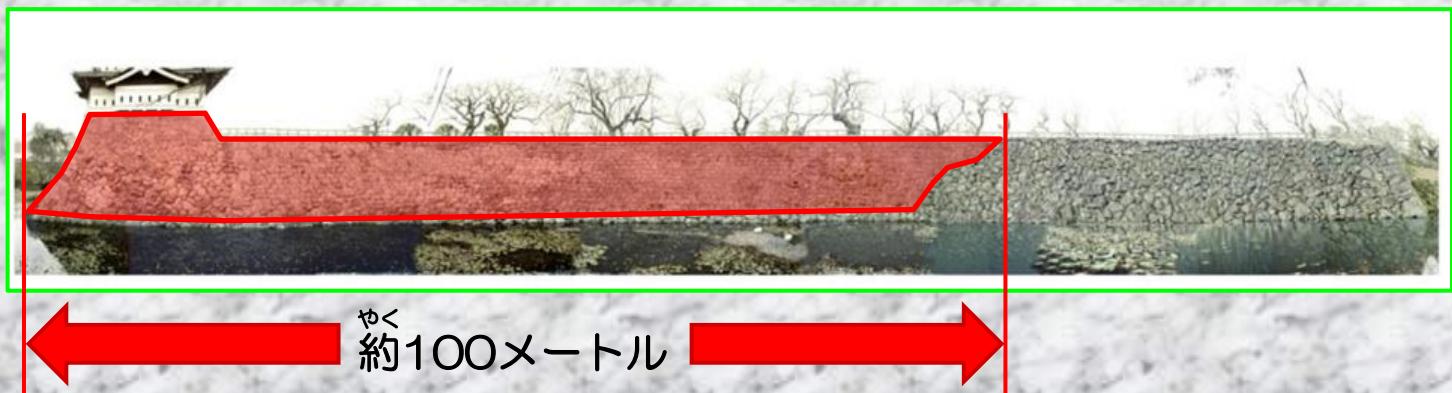
弘前市マスコットキャラクター  
たか丸くん

# ひろさきじょうほんまるいしがきしゅうりじぎょう 弘前城本丸石垣修理事業 ねん だいしゅうり ～100年ぶりの大修理～

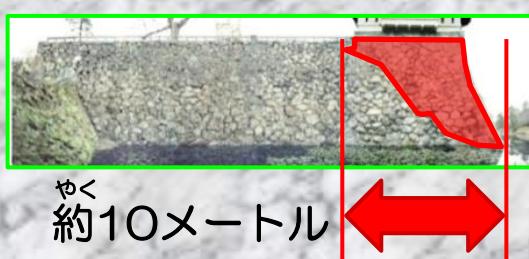


みなみ のぞ ひろさきじょうほんまるいしがき  
南から望んだ弘前城本丸石垣

これまでの観測・調査の結果  
う いしがき ち しつがくなど せんもん  
を受け、石垣や地質学等の専門  
か ひろさきじょうあとほんまるいしがき  
家からなる「弘前城跡本丸石垣  
しゅうり い いんかい いしがき かいたいしゅう  
修理委員会」で、石垣の解体修  
り ひつようせい みと  
理の必要性が認められました。  
へいせい ねん がつ いいんかい しゅう  
平成25年7月の委員会で、修  
り はんい ひがしめん やく みなみめん  
理範囲は東面の約100mと南面  
やく けってい  
の約10mに決定しました。



しゅうり はんい ひがしめん  
修理範囲 (東面)



しゅうり はんい みなみめん  
修理範囲 (南面)



めいじ たいしょうき  
明治・大正期の石垣修理

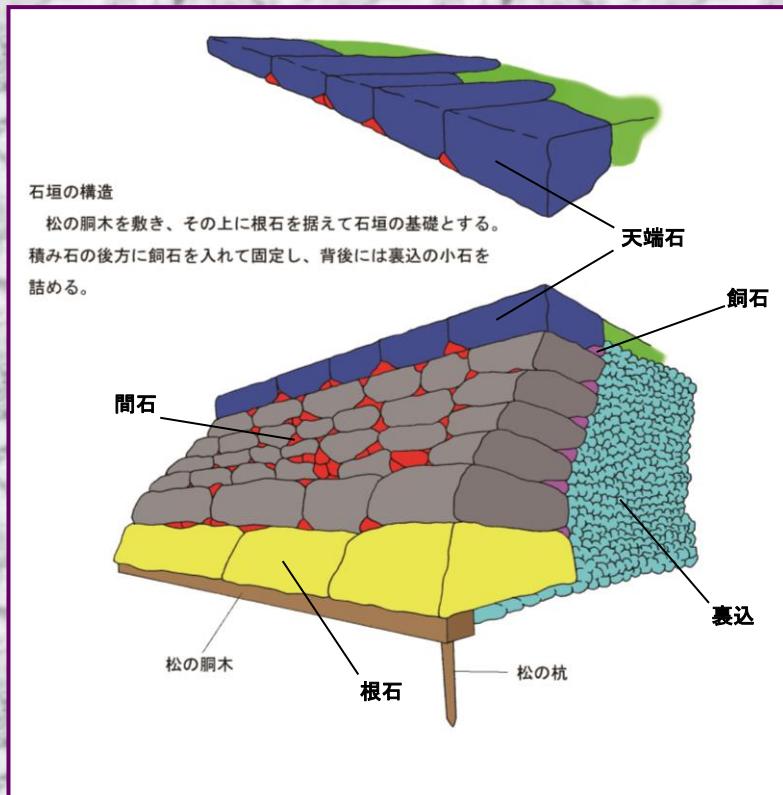
めいじ たいしょうき  
←明治・大正期  
いしがきかいたいしゅうり  
の石垣解体修理  
さい しゃしん  
の際の写真で、  
てんしゅ にしがわ ひき  
天守が西側に曳  
や  
屋されている。



弘前市マスコットキャラクター  
たかんくん

# ひろさきじょうほんまるいしがきしゅうりじぎょう 弘前城本丸石垣修理事業 ねん だいしゅうり ～100年ぶりの大修理～

## いっぽんてき いしがき こうぞう 一般的な石垣の構造



市では、平成24年度に石垣の裏込や根石等の状況を確認するため、本丸平場と内濠で試掘調査を実施しました。  
内濠の試掘調査の結果、胴木や杭は発見されず、弘前城本丸の石垣には、胴木や杭は存在しない可能性が高いと考えられています。

## ○石垣関連の用語について

積み石…石垣に使用する石の総称。

積石…石垣の表面に積まれている石で、

すみいし すみわきいし いがい つ いし そうしょう  
角石・角脇石以外の積み石の総称。

天端石…石垣の最上部の築石。

根石…石垣全体を支える最下段の築石。

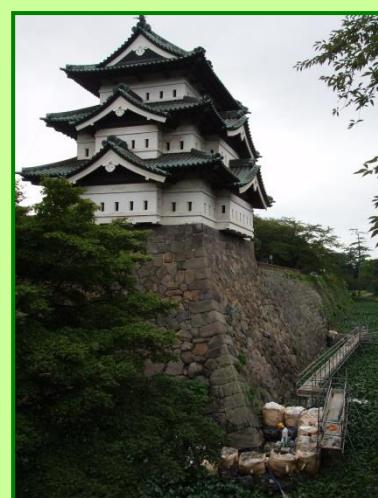
間石…築石の隙間に詰める石。

飼石…積み石の奥に挟む石の総称。

築石…径10~15cm程度の大きさの丸い小石の総称。

裏込…積み石と背後の地山・盛土との間に充填する築石等。

胴木…軟弱地盤において石垣の重さの分散を図り陥没を防ぐために設けられる土台。



さくねんど しつつちょうさ じょうきょう  
昨年度の試掘調査の状況



弘前市マスコットキャラクター  
たか丸くん

# ひろさきじょうほんまるいしがきしゅうりじぎょう 弘前城本丸石垣修理事業

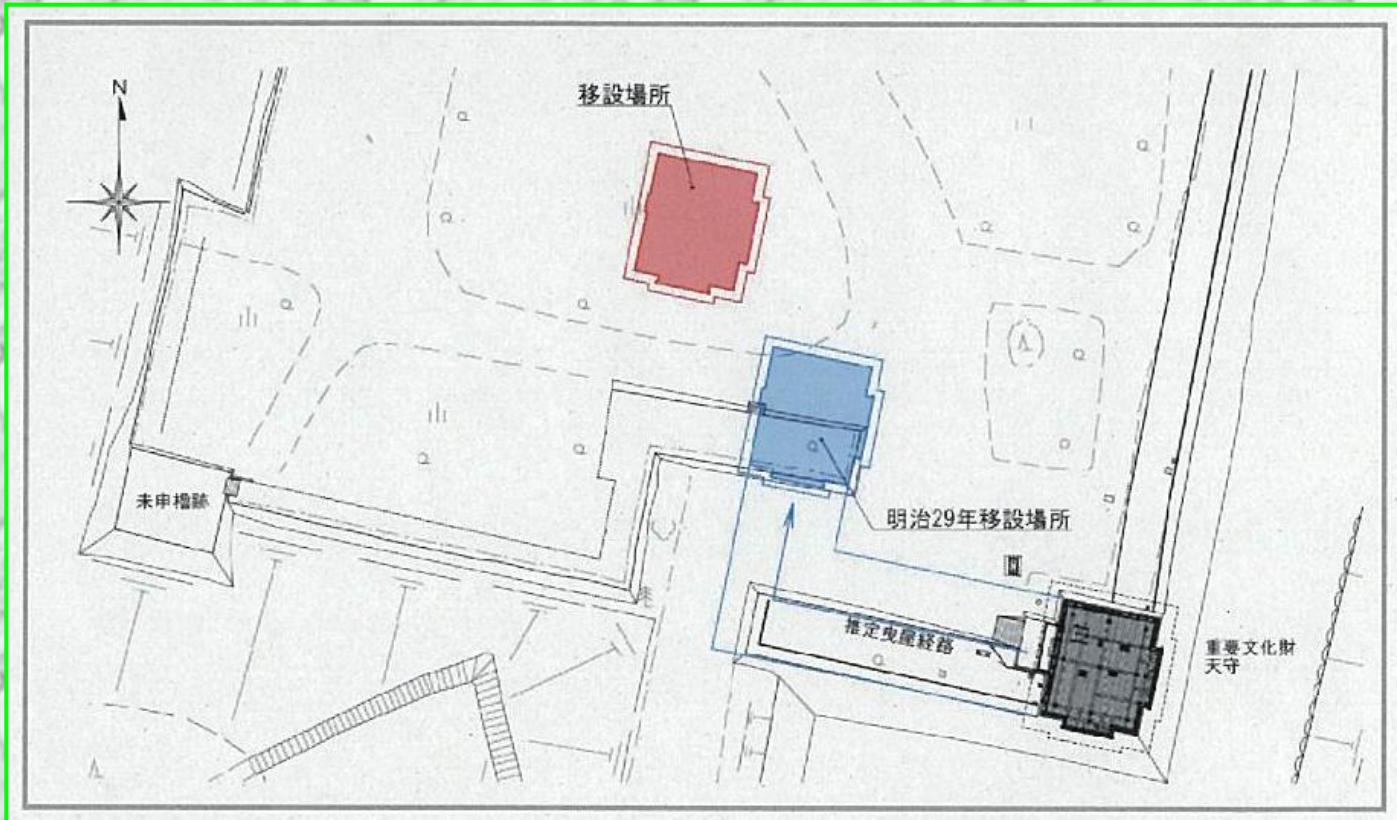
ねん

だいしゅうり

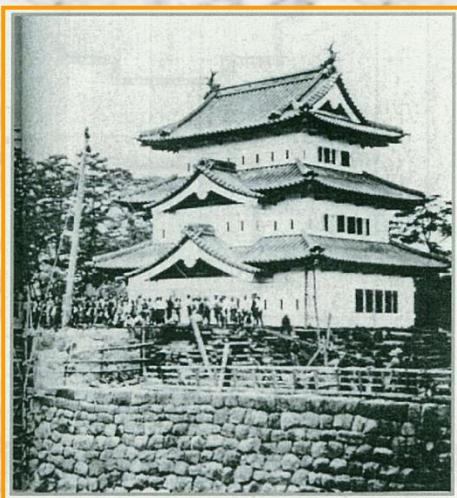
## ～100年ぶりの大修理～

### てんしゅ ひきや 天守の曳屋について

こんご ぶんかちょう きょうぎなど  
※今後の文化庁との協議等により、内容は変更になる場合があります。



### めいじ ねん てんしゅ いせつ ばしょ こんかい てんしゅ ひきや よてい ち 明治29年の天守移設場所と今回の天守曳屋の予定地



めいじ たいしうき ひきやじょうきょう  
明治・大正期の曳屋状況

### ひきや ○曳屋について

ひきや けんそうぶつ かいたい  
曳屋とは、建造物を解体せずに、そのままの状態で移動する建築工法です。

ひきや ぎじゅつ けんてん いま ねんまえ  
曳屋技術の原点は、今から5000年前  
こだい ぶんめい おお けんそうぶつ つく  
の古代エジプト文明で大きな建造物を造  
さい りょう  
る際に利用された、「テコ」と「コロ」  
けんり おうよう ぎじゅつ  
の原理を応用した技術だとされています。